

議長定例記者会見の概要

日 時：令和3年6月30日(水)
10時53分～11時04分
場 所：議長応接室



【議長発言】

(中野議長)

皆さん御苦労さまです。お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私どもが議長・副議長に就任して初めての定例会でありましたが、無事終了することができました。

今定例会では、一般質問を行った議員が15名、それから、補正予算3本の審議等々がありました。コロナ対策が補正予算の中心でしたが、11月のワクチン接種終了まで、スムーズに進むように、我々も一生懸命、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

また、会議規則も改正をいたしました。これまで以上に、県民にとって議会が身近なものになるであろうと思っております。

【質疑応答】

(UMK)

会議規則の改正に関して、育児・介護に関する欠席や、産休の期間に関する規定が新たに明記されましたが、これによって、県議会はどのように変わってくると感じていますか。

(中野議長)

改正の目的は、県議会議員の選挙のときに、立候補しやすい環境をつくるということです。そして、現在の議員が、堂々と、という語弊がありますけれども、遠慮なく休める環境にもなったと思います。

また、新型コロナウイルスのワクチン接種も欠席事由の一つということにしました。今定例会でも、ワクチン接種のために何人かの議員が早退したり、休みをとったりしていましたが、それによって、議会の進行に支障が出たということもなかったので、会議規則を変更してよかった、と私自身は評価をしているところであります。

(NHK)

産休期間が産前6週・産後8週と期間まで明記されたことについて、どのように評価されていますか。

(中野議長)

今回の規則の改正は、標準都道府県議会会議規則を踏まえて行いました。市町村議会では、もっと長めの期間のところがあったりしております。

自分たちも子育てをして思ったことは、実際、妊娠してお産をして、育休を取るとなれば、あのぐらいの期間ではなかなか育児というのは難しいなということです。我々も、この標準都道府県議会会議規則どおりでいいのかということも含めて、もっと余裕を持って休業できるようなものに検討はしていけないといけないのではないかと考えております。

(NHK)

育児休暇については、育児という文言は加わったものの、期間までは明記されていません。全国都道府県議会議長会などに尋ねたところ、期間を明記して、1年とか2年とか長いスパンで休むとなると議会活動に結構支障が出るのではないかとということで、期間までは定めてない、というお話がありました。

(中野議長)

我々は4年に1回選挙をしなければならない立場なので、実際に長く休んだ場合は、選挙のときに非常に厳しい状況に置かれるのではないかなと思います。

育児は、女性だけでなく男性も考えなければならない大きな課題です。また、我々議員も、配偶者を中心に、家族の理解がなくては立候補もできませんし、任期の途中で、妊娠・出産・育児といったことがあればなおさらです。やはり、そういうことに対して、社会が受け入れてくれるような環境づくりも必要ではあろうと理解をしているところであります。

(NHK)

今回の会議規則の改正の大きな目的は、多様な層が政治参画できるように、ということだと思います。一方で、県議会には女性議員の数がやはり少なくて、女性議員（正式

には立候補者数)が半数になるようにという法律も定められてますけれども、女性議員確保についてはどのように進めていくのでしょうか。

(中野議長)

なるべくいろんな人が立候補できるような県議会をつくっていく必要がありますので、引き続き検討をしていかなければならないと思います。

(NHK)

女性議員の比率についてはいかがですか。

(中野議長)

対応できるような環境づくりはしていきたいと思います。

(宮崎日日新聞)

県立宮崎病院のことについて伺います。数年前に県議会でかなり議論をされて、費用を50億円圧縮するまで導いたことがありましたが、今回、新たにアスベストの工事が発生してしまって、費用がそこまで圧縮できないのではないかといった議論が出てきております。当時も議員として議論に参加された議長として、この点についての所見をお伺いできればと思います。

(中野議長)

県立宮崎病院については、費用が余りにも多額だということで、当時の結論としては50億円圧縮したのですが、既存病棟の解体にあたって、アスベストがあるという話が出てきました。

工事する人たちの健康を考え、アスベストが影響しないような壊し方をする必要があります。また、環境的にアスベストが残ってはいけません。撤去することで、費用が幾らかは増えると思うのですが、なるべくお金がかからないようにしてもらいたい。かといって、安い費用で工事を行って、アスベストが中に残ったとか、壊すときに吸い込んだ、といったことがないようにしてほしいと思います。

全体で50億円圧縮するというところでスタートしているのですが、今回上乘せになる費用がいくらになるかは、今後の入札の過程もあるので分かりません。事業者によっては、素晴らしい技術やノウハウを持っているところもありますので、そういった事業者を選んで、作業する人たちに健康被害がないようにやってほしいと思います。